

## 事務事業評価一覧(課別)

令和5年度

商工観光部観光PR課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	97,829	コスト	成果	
2139 地域資源プロデュース事業	7,799	×	×	113-01
2141 特産品協会運営支援事業	801	→	↑	113-02
2142 市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	1,349	↓	→	131-01
2143 霧島大使運営事業	32	→	→	533-01
2144 スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	1,900	→	↑	431-01
2145 観光バス運行事業	24,191	↑	↑	132-01
2146 霧島の食ブランド価値向上事業	3,529	↓	↑	113-03
2150 観光案内板・電照看板設置事業	4,711	↓	→	133-01
2151 観光宣伝事業	3,202	↓	→	131-02
2152 市観光協会活動支援事業	29,916	→	↑	131-03
2153 観光客誘客事業	6,435	↓	→	131-04
2155 森林セラピー推進事業	542	↓	→	132-02
2156 初午祭開催支援事業	2,400	→	→	132-03
2158 安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	584	→	→	132-04
2159 温泉旅館協会等運営支援事業	82	→	→	132-05
2165 外国人観光客誘致促進事業	0	→	↑	131-05
2566 霧島市総合観光案内所管理運営事業	10,356	→	↑	131-06

<b>1. 基本情報</b>			
事務事業名	2139 - 地域資源プロデュース事業		
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課
施策名	1. 地域産業の活性化		
基本事業名	3. 霧島ブランドの確立と販路の拡大		予 会計 算 01 一般会計 科 02 総務費 目 01 総務管理費 目 10 霧島ふるさと元気再生事業費
基本事業の内容 (総合計画より)	①「ゲンセン霧島」認定制度を推進するため、生産者等への制度の普及・啓発や、特色ある認定品の充実に取り組みます。 ②生産者や関係団体が連携して、積極的に商談会などに参加することで、認定品の販路拡大や販売促進を図ります。		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	事業期間
	①②地域産品	①②販路が拡大される	平成30年度～
		根拠法令 条例等	霧島市地域おこし協力隊設置要綱
		関連計画	地域再生計画

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

本事業は、これまで販路に恵まれなかった商品や眠ったままの商材を含めた霧島の地域資源の発掘、デザイン、マッチング、販売、発信を、専門的な知識や経験を有した「地域おこし協力隊」を活用することにより行うもので、本市の地方創生を加速させ、霧島の「モノ創り」の活性化を目的としている。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	64	60	66	60
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>
事業費(千円)	8,006	7,800	0	霧島ガストロノミー推進協議会の事業に関して、新たな地域資源の掘り起こしや認定制度の普及啓発、認定品のPR、販路拡大等に取り組んだ。
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	8,006	7,800	0	

**5. 振り返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	見直す必要がある
	③	廃止・休止の影響はあるか	***
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	***
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	× 休廃止	本事業は、地域おこし協力隊の活動による事業であり、主な業務である霧島ガストロノミー推進協議会が展開する「ゲンセン霧島」の認定産品等の情報発信や販路拡大など、一定の成果は得られた。 なお、今後の霧島ガストロノミー推進協議会の運営のあり方等の見直しの検討も必要であり、現隊員の退任後の起業や就業等も含め、新たな仕組みづくりを検討していく必要があることから、現隊員の任期をもって、本事業は休廃止とする。
② コスト(予算)の方向性	× 皆減	

<b>1. 基本情報</b>			
事務事業名	2141 - 特産品協会運営支援事業		
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課
施策名	1. 地域産業の活性化		
基本事業名	3. 霧島ブランドの確立と販路の拡大		予 会計 01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①「ゲンセン霧島」認定制度を推進するため、生産者等への制度の普及・啓発や、特色ある認定品の充実に取り組みます。 ②生産者や関係団体が連携して、積極的に商談会などに参加することで、認定品の販路拡大や販売促進を図ります。	算 科 目	款 07 商工費
			項 01 商工費
			目 04 観光費
		事業期間	平成10年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等
	①②地域産品	①②販路が拡大される	特になし
		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

地域産品の開発及び販売経路の拡充のため、会員間の相互理解と連携を強め、霧島ブランドにふさわしい特産品PRや国内外への販路開拓、観光とリンクした特産品産業の振興を通じた地域経済の活性化の促進を目的としている。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 特産品協会会員	会員数	人	65	68	67	70
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 特産品をPRし、販路を開拓	特産品PR及び販路開拓に繋がるイベント参加数	回	2	5	3	5
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	1,168	801	1,098	・霧島ガストロノミー推進協議会事務局 会議等:委員会2回 ・霧島市ふるさと納税支援 会員からの新商品情報等の情報提供を行った。 ・販売チャンネル新規開拓支援事業 会員8件の事業採択 ・イベントへの参加 3回
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	1,168	801	1,098	

**5. 振り返り<SEE (check) >**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN) >**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	コロナ禍も終わりにイベントの通常開催に戻ってきた一方でコロナ禍を経てPRの手法等も多様化している。 そのため、今後も会員支援に取り組みながらPR機会の創出を行っていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

<b>1. 基本情報</b>						
事務事業名	2142 - 市PRスタッフ運営協議会活動支援事業					
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)			所属	観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進					
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。				款	07 商工費
				項	01 商工費	
				目	04 観光費	
				事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらおう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

「霧島ふるさと大使」を選考し、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝で活動してもらうとともに、大使の活動にあたって必要な知識の習得、マナー向上等を目的とした研修や視察等の機会提供といった管理運営を行うものである。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア PRスタッフ	選考人数	人	3	3	3	3
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる	出務人数(延べ)	人	76	80	77	80
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	1,420	1,349	1,349	各種イベント等を通して本市を広くPRするとともに、SNS(フェイスブック、インスタグラム)を利用したの情報発信も行った。 【市内各種イベントや県外の観光キャンペーン】43回参加(述べ83日出務) 【フェイスブック】75回投稿 【インスタグラム】106回投稿 【第16代霧島ふるさと大使選考会】9名参加
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	1,300	
一般財源	1,420	49	49	

**5. 振返り<SEE (check) >**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN) >**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	選考にあたっての事務を見直し、コスト削減を図っていく。 また、昨今の情報発信の手法や出務状況の変化を踏まえ、メディア出演やSNSを活用した情報発信に際し、本市の魅力を伝える効果的なPRが行えるよう、知識や意識を向上する研修や視察等の機会を継続して提供していく。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

<b>1. 基本情報</b>					
事務事業名	2143 - 霧島大使運営事業				
政策名	5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)	所属	観光PR課		
施策名	3. 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開				
基本事業名	3. シティプロモーションの推進				
基本事業の内容 (総合計画より)	①市民のまちへの愛着度を高める「キシマイスター」活動を推進するなど、市民と行政が一体となってまちの魅力づくりに取り組みます。 ②本市の知名度向上を図るために、SNS等を活用し、市民とともに本市の魅力や様々な取組に関する情報発信を行います。	予	会計	01	一般会計
		算	款	07	商工費
		科	項	01	商工費
		目	目	04	観光費
		事業期間	平成20年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①②市民	①霧島市への愛着度が高まる ②霧島市の魅力を情報発信してもらう		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進等、市勢発展に寄与していただく霧島大使の委嘱等を関係課と連携して行うものである。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 霧島大使	委嘱者数	人	0	1	1	1
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島市の情報を知ってもらう	広報誌を送った回数	回	228	240	240	252
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>
事業費(千円)	22	37	37	本市の情報提供として、毎月発行している市広報誌等を送付している。また、霧島大使として活動する際の名刺について、活用状況の調査を実施の上、希望者へ作成・提供した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	22	37	

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	制度のあり方や運用について、引き続き調査を実施しながら、より良い運営方法を協議する。 また、大使への情報提供を継続的に行うほか、庁内及び各種団体等と連携し、新たな大使の委嘱について検討するなど、本市の更なる知名度向上を図っていく。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

<b>1. 基本情報</b>				
事務事業名	2144 - スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業			
政策名	4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	所属	観光PR課	
施策名	3. スポーツ・文化に親しむ環境づくり			
基本事業名	1. スポーツに親しむ環境づくりの推進	予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①スポーツキャンプや大会の誘致、トップアスリート選手等によるスポーツ教室、各地区スポーツ祭、霧島スポーツまつりの開催など、スポーツに関わる関心層の拡大や競技スポーツの向上につながる取組を推進します。 ②多様化するニーズや社会環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。 ③市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を計画的に行います。		款	07 商工費
			項	01 商工費
			目	04 観光費
		事業期間	平成8年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	霧島市補助金交付規則等
	①市民 ②スポーツ指導者・スポーツ推進委員 ③スポーツ施設	①スポーツへの関心が高まる ①競技力が向上する ②多様化するニーズや社会環境の変化に対応した指導ができる ③安全性・利便性が高まる	関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

スポーツ団体誘致による市の活性化と観光客の集客を図るために、市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に対し補助金を交付する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア スポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体数	10	15	7	7
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島市でキャンプを行ってもらう	キャンプを行った団体(全体)	団体数	10	15	8	7
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>
事業費(千円)	1,892	1,900	1,900	霧島市でキャンプを継続している団体に対し、誘致活動を行った。また、プロ・実業団のキャンプイン時に歓迎セレモニーを実施・激励品の贈呈をした。
財源内訳	国庫支出金	0	0	【継続団体】モンテディオ山形、藤枝MYFC、FCソウル、Hondaソフトボール部、太陽誘電女子ソフトボール部、日本経済大学公式野球部、旭川市立大学公式野球部 【新規団体】県道男子日本代表チーム
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	1,892	1,900	

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	施設が飽和状態にあるサッカー、野球、ソフトボール以外の競技(ラグビー、ハンドボール、剣道など)の誘致に努める。また、施設への受入については、引き続き関係課と連携を取りながら取り組む。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

<b>1. 基本情報</b>							
事務事業名	2145 - 観光バス運行事業						
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進						
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用				予	会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。				01	一般会計	
					算	07	商工費
					科	01	商工費
					目	04	観光費
					事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし	
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画	霧島市地域公共交通計画	

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

観光客の二次アクセスの確保を行うため、以下の観光バスを運行するもの。「霧島連山周遊バス」登山者の交通アクセス充実のため、丸尾を拠点にえびの高原及び高千穂河原を結ぶ。平成17年度より運行。「妙見路線バス」妙見を経由して国分駅から鹿児島空港を結ぶ。平成22年度より運行している。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光客	観光客数	人	5,605,350	7,490,000	6,609,592	7,490,000
イ 観光客	観光客数	人	5,605,350	7,490,000	6,609,592	7,490,000
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 2次交通アクセスを確保する	霧島連山周遊バスの利用者数	人	2,999	4,600	2,950	4,600
イ 2次交通アクセスを確保する	妙見路線バスの利用者数	人	6,391	7,400	6,403	7,400
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		29,981	24,192	30,104	霧島連山周遊バスは、昨年度と同じダイヤで運行を行った。 妙見路線バスは、令和5年6月1日にダイヤの改正(減便)及び隼人駅から国分駅へ運行ルートの延伸を行った。また、バスロケーションシステムを導入し、スマートフォン等により運行情報を確認することができるようになり、利用者の利便性が向上した。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	12,900	0	29,900		
	一般財源	17,081	24,192	204		

<b>5. 振返り&lt;SEE (check)&gt;</b>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

<b>6. 評価結果&lt;(Action-PLAN)&gt;</b>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	鹿児島空港から丸尾・霧島神宮・霧島神宮駅を結ぶ霧島神宮アクセスバス(仮)の実証運行を予定しており、当バスの利用者増加及び霧島連山周遊バス・妙見路線バスと合わせた2次交通を活用した観光に関して周知徹底に努め、利用者の増加を図る。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

<b>1. 基本情報</b>				
事務事業名	2146 - 霧島の食ブランド価値向上事業			
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課	
施策名	1. 地域産業の活性化			
基本事業名	3. 霧島ブランドの確立と販路の拡大		予 会計 01 一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①「ゲンセン霧島」認定制度を推進するため、生産者等への制度の普及・啓発や、特色ある認定品の充実に取り組みます。 ②生産者や関係団体が連携して、積極的に商談会などに参加することで、認定品の販路拡大や販売促進を図ります。	算 科 目	款 07 商工費	
			項 01 商工費	
			目 04 観光費	
		事業期間	平成29年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	特になし
	①②地域産品	①②販路が拡大される	関連計画	地域再生計画

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

健康的食生活と食を通じた喜びを分かち合うための知識、体験、芸術、クラフトを統合したガストロノミーの理念のもと、「霧島には魅力的な食文化がある」という認識を国内外から得るため、市内の産学官各種団体が連携した「霧島ガストロノミー推進協議会」の活動を支援し、地域経済の活性化や交流人口の拡大を図ることを目的とする。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島ガストロノミーブランド認定を取得	認定された商品、活動の数	件	64	64	66	66
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	7,386	3,529	3,790	・ブランド認定制度により、18件(新規5件、再認定13件)の認定品・活動が「ゲンセン霧島」に認定された。 ・市内外への物産展、イベントへの出展及び霧島ガストロノミーコレクションを開催し、市内外における認定品の認知度向上を図った。 ・市内外の飲食店等と連携し、ゲンセン霧島認定品を使用したメニューを提供した。 ・霧島茶PRイベント「霧島茶庭」を4回開催した。 ・かごしま国体期間中の各競技会場において、本市特産品等のPRを実施した。 ・大手航空会社国際線ファーストクラス機内食食材への認定品の活用や市内ホテル売店での展開など各企業と連携したPRを実施した。	
財源内訳	国庫支出金	2,900	0		0
	県支出金	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	3,438		0
一般財源	4,486	91	3,790		

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	・「ブランド認定制度」については、7年目を迎えるため、制度の見直しを行い、継続して認知度向上の取組を実施していく必要がある。 ・企業との連携も増えてきているため、事務局に依存しない形での認定品や活動のPR等に努めていく。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	



<b>1. 基本情報</b>			
事務事業名	2150 - 観光案内板・電照看板設置事業		
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進		
基本事業名	3. 利便性の高い観光地づくりの推進		予 会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①施設などのユニバーサルデザイン化や多言語表記による案内板の設置、Wi-Fi環境の整備を促進します。 ②個人旅行の増加など旅行形態の変化に対応するため、主要な交通結節点である空港や駅からの二次アクセスの確保を図ります。	算 科 目	01 一般会計
			07 商工費
			01 商工費
			04 観光費
		事業期間	平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等
	①②国内外からの観光客	①②快適に観光できる	特になし
		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**  
 新幹線やJR在来線及び飛行機を利用し鹿児島県を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るため、観光PR広告看板を設置するもの。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	5,605,350	4,990,560	6,609,592	8,194,973
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島中央駅鹿児島本線1日あたりの乗車人員)	人	0	21,000	0	21,000
イ 霧島市を知ることができる	看板を見た人(鹿児島空港国際線・乗降客数)	人	0	400,000	0	400,000
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		3,502	4,712	3,915	鹿児島県の空の玄関口である鹿児島空港、陸の玄関口である鹿児島中央駅それぞれに広告を設置し、本市の魅力ある情報を掲載することで本市の認知度向上や誘客促進が図れた。年度後半には人通りも戻りつつあり、より多くの人々に向けて発信することができた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,397	1,397	1,397		
一般財源	2,105	3,315	2,518			

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	市の認知度向上や誘客を図るため、より効果的な看板掲出に取り組むため、令和5年度末をもって鹿児島空港国際線出発口上部の電照看板を廃止し、鹿児島空港1階国際線到着口のデジタルサイネージへの広告掲載に変更する。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

<b>1. 基本情報</b>					
事務事業名	2151 - 観光宣伝事業				
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進				
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致		予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。		算	款	07 商工費
			科	項	01 商工費
			目	目	04 観光費
			事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	特になし	
	①②国内外の人	①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらおう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう	関連計画	特になし	

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

本市の魅力ある観光資源を広く周知するため、効果的なイベントへの参加や旅行会社等へのセールス、また各種メディアやウェブ等を活用した情報発信を行うとともに、観光客のニーズに応じた情報提供や資料配布等も行い誘客を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 国民	日本の人口	千人	124,487	124,310	123,759	123,035
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる	宣伝日数(延べ)	日	28	78	33	78
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		3,017	3,245	2,724	<b>【実績】</b> ・観光宣伝イベント参加数: 17回 ・旅行商品商談会等参加者: 5回 ・修学旅行関連セールス等: 8回 ・地元イベント参加数: 3回 ・観光パンフレット発送数: 337件 <b>【成果】</b> 令和5年度は昨年度と比べて多くの観光宣伝イベントやセールス等を実施することができた。結果、令和5年の観光客数は6,609,592人となり昨年度と比較し大幅に増加した。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	2,800	2,700		
一般財源	3,017	445	24			

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	本市の魅力ある観光資源を広く周知できるよう、各種メディアやウェブ等を活用した効果的な情報発信を行うとともに、観光客のニーズに応じた情報提供や資料配布等を行い、本市への観光誘客に努める。 霧島市観光総合戦略の基本目標である「国内外の観光客の誘致」に基づき、本市への来訪を促すよう積極的な観光宣伝を展開する。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

<b>1. 基本情報</b>			
事務事業名	2152 - 市観光協会活動支援事業		
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進		
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致	予	会計 01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。	算	款 07 商工費
		科	項 01 商工費
		目	目 04 観光費
		事業期間	平成21年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等
	①②国内外の人	①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう	特になし
		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

(公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助を行うことで、公益性のある観光客の誘致促進事業や受入整備事業を実施し、本市の観光振興に繋げる。  
 ●誘致促進事業…観光イベントの開催、ホームページ等による情報発信、サイクルツーリズム推進事業 など  
 ●受入整備事業…観光案内所(3箇所)の運営、観光マップ作成事業、インバウンド対策事業 など

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	社	219	240	215	220
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 市観光協会の活動運営を支援することで観光誘客のための事業を推進する	観光客数(宿泊+日帰り)	人	5,605,350	7,489,312	6,632,211	7,489,312
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	30,782	29,916	29,716	アフターコロナへの転換期であり、観光客の誘致促進および受入環境整備事業に注力した。そのほか、観光協会の自主事業である「和服で参拝、ぶらり霧島神宮。」の再開により、体験プログラムの拡充が図られたところである。
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	30,782	29,916	29,716	

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	これまでも霧島市の観光振興のための取り組みを実施しているが、限られた予算の中で本市の知名度向上、観光客の増加に繋がる事業を検討・実施していく必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

<b>1. 基本情報</b>								
事務事業名	2153 - 観光客誘客事業							
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進							
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致				予	会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。				01	一般会計		
					算	款	07	商工費
					科	項	01	商工費
		目	目	04	観光費			
		事業期間				平成22年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①②国内外の人		①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし		

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

本市への誘客促進と再訪に繋げるための観光客の満足度向上、イメージアップ及び地域経済の発展を図るため、国内外セールスや会員団体への助成事業、温泉を活用した誘客・普及宣伝事業、イベントへの出展等を実施し誘客を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	社	219	240	215	220
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)	人	5,605,350	8,113,835	6,632,211	8,194,973
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		6,500	6,435	6,435	<b>【実績】</b> PRキャラクター事業(霧島温泉大使アヒル隊長企画事業)、温泉活用事業(スタンプラリー「ゆ旅」)、活性化団体支援事業(2団体+2高校)、誘致助成事業(4団体)、情報発信(るるぶ鹿児島等)、指宿市との広域連携事業 <b>【成果】</b> 市内で自主的に活動する地域活性化団体や高校生への支援、誘客が見込まれる事業への助成を行い官民一体となった誘客に対する意欲の向上に繋がった。また指宿市との広域連携事業において、国内外へのプロモーションも実施し誘客を図った。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	6,400	6,400		
一般財源	6,500	35	35			

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	今後の観光動向を注視しながら、官民一体の組織として構成する団体からの意見を聴取し、新たな取り組みや既存事業のブラッシュアップ、また本市ならではの素材を活用した更なる発信が必要である。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

<b>1. 基本情報</b>				
事務事業名	2155 - 森林セラピー推進事業			
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進			
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用		予 会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。	算 科 目	款	07 商工費
			項	01 商工費
			目	04 観光費
		事業期間	平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	特になし
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート	①②生かされる ①②創出される ③開発される	関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

「森林セラピー」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む65の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光客(イベント参加者)	イベント参加者数	人	26	50	37	50
イ 指導者(森林セラピーガイド)	セラピーガイド会員数	人	10	16	10	16
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 癒される	イベント満足度	%	100	100	100	100
イ ガイドを養成する	養成回数	回	0	5	0	2
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)	312	542	354	<b>【実績】</b> ○森林セラピーイベント「癒しの休日」の開催(11月) 霧島市森林セラピー推進協議会(事務局:観光PR課内)の主催でイベントを1回実施した。通常の森林セラピーだけでなく霧島ならではの魅力を盛り込むことで、参加者からの満足度も高いイベントとなった。 ○東亜日報新聞社 取材(3月) 大韓民国の日刊新聞である東亜日報新聞社が森林セラピーコース(丸尾自然探勝路)を取り上げ、国外にも情報発信された。 <b>【成果】</b> 11月のセラピーイベントでは、イベント参加者の100%の方が「良かった」と回答した。また、九州沖縄森林セラピー基地ネットワーク会議研修会においては協議会員及びガイドの意識向上に繋がり、今後の発展が期待できるものとなった。	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
一般財源	312	542	354		

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	霧島市が森林セラピー基地に認定され10年以上経過するが、今なお森林セラピーが市民に浸透しているとは言えない。そのため、森林セラピーとその効果の周知を更に図っていく。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

<b>1. 基本情報</b>								
事務事業名	2156 - 初午祭開催支援事業							
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)				所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進							
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用				予	会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①JRR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。				01	一般会計		
					算	款	07	商工費
					科	項	01	商工費
		目	目	04	観光費			
		事業期間				平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート		①②生かされる ①②創出される ③開発される		関連計画	特になし		

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

多年にわたり、鹿児島市宮内町住民の生活の中で受け継がれてきた「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された「薩摩の馬踊りの習俗」を後世に保存・継承するとともに、初午祭の円滑な事業推進を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光客	観光客数	人	5,605,350	5,700,000	6,632,211	7,489,312
イ 初午祭出場団体数	初午祭出場団体数	団体	16	16	17	17
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 初午祭に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる	初午祭に訪れた人数	人	150,000	100,000	100,000	100,000
イ 初午祭の出場団体数により祭りの規模を把握できる	初午祭出場団体数	団体	16	16	17	17
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		2,453	2,400	2,400	今年度は本市の補助金のほかにJRAや県地域振興推進事業からの補助金等を受け、付帯イベントや祭りの周知、備品の整備等について例年より注力した。 参加団体については、通常開催した昨年度と同数を予定していたが、1団体多い参加があった。また、来場者数は昨年度と比較すると少なかったものの、県内の大きなイベントが同日開催であったにもかかわらず、多くの観客が訪れ、本市の大きな観光イベントとして無事に開催することができた。 昨年度から諸費用がかなり高額になっているため、関係各所と協議して費用軽減に努め、次年度に向けて金銭的な負担が大きくなるような道筋をつけることができた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	2,400	2,400		
一般財源	2,453	0	0			

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	様々な費用が高騰する中、現在の予算の範囲内で祭りを維持できるように努力しており、次年度以降も引き続きコストの維持に努め、財源の確保や高額になる警備費用を抑えられるような体制を整えていく。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

<b>1. 基本情報</b>				
事務事業名	2158 - 安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業			
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課	
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進			
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用		予	会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。	算	科目	01 一般会計
			目	07 商工費
			目	01 商工費
			目	04 観光費
			事業期間	平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート	①②生かされる ①②創出される ③開発される		霧島市補助金交付規則
			関連計画	特になし

<b>2. 事務事業の事業概要・目的・指標&lt;Do&gt;</b>						
妙見温泉振興会と安楽温泉振興会が行っている国道223号沿線の植栽や剪定等の景観保全活動に対して支援する。						

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 妙見・安楽地区の団体	補助した団体数	団体	2	2	2	2
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 景観向上のための整備をする	植栽等もみじ管理活動回数	回	5	7	5	5
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		584	584	571	妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽等)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。  (補助金額) ・妙見温泉振興会 330千円 ・安楽温泉振興会 254千円	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	500	500		
一般財源	584	84	71			

<b>5. 振返り&lt;SEE (check)&gt;</b>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

<b>6. 評価結果&lt;(Action-PLAN)&gt;</b>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくりに必要な補助金は引き続き交付するものの、景観保全に必要な補助金額については、物価高騰などの影響も注視しつつ、引き続き検討をしていく必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

<b>1. 基本情報</b>			
事務事業名	2159 - 温泉旅館協会等運営支援事業		
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進		
基本事業名	2. 観光素材の創出と活用		予 会計 01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①JR肥薩線沿線周辺の整備や、ジオパークサイト等の地域資源を活用したガイドツアーリズムの推進など、観光素材の魅力を引き出し、高める取組を推進します。 ②周遊観光の促進を図るため、観光ニーズに対応した広域観光ルートの開発や観光素材の活用を推進します。 ③多様化・複雑化する観光ニーズに対応した、「霧島ならではの」観光素材の創出を図ります。	算 科 目	款 07 商工費
			項 01 商工費
			目 04 観光費
		事業期間	平成17年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等
	①②自然や歴史・文化、温泉、食などの多種多様な観光素材 ③観光ニーズに対応した広域ルート	①②生かされる ①②創出される ③開発される	霧島市補助金交付規則  特になし
関連計画			

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

観光客の受入のため、各温泉旅館協会等が行っている観光誘致宣伝活動や運営などの事業に対し、入湯税の還元として補助金を交付する。  
【対象団体】霧島温泉旅館協会・霧島神宮温泉郷旅館協会・日当山温泉旅館組合・妙見温泉振興会・安楽温泉振興会

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光客	観光客数	人	5,605,350	5,700,000	6,632,211	7,489,312
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島を観光してもらう	事業の実施件数	件	17	17	17	17
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>
事業費(千円)		1,006	1,098	1,455	観光客の受入のため、各温泉旅館協会等が行っている観光誘致宣伝活動や運営などの事業に対し、入湯税の還元として補助金を交付し、各団体は事業を実施した。  【補助金額】 ・霧島温泉旅館協会 715千円 ・霧島神宮温泉郷旅館協会 205千円 ・日当山温泉旅館組合 82千円 ・妙見温泉振興会 92千円 ・安楽温泉振興会 4千円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	1,006	1,098	1,455		

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	



<b>1. 基本情報</b>					
事務事業名	2165 - 外国人観光客誘致促進事業				
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進				
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致		予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。	算	科	目	07 商工費
				目	01 商工費
				目	04 観光費
		事業期間		平成23年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①②国内外の人	①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらおう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘客促進活動を行う。アジアを中心とした現地セールス、ツアー商品等造成のための旅行エージェント(旅行会社)との商談会の実施、現地視察案内、ツアー企画の協力支援を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 外国人(定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期便就航路線	路線	0	0	3	4
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 霧島市の情報を知る	海外誘致セールス回数	回	0	0	1	5
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)	0	0	3,073	令和5年6月に香港エクスプレス、同年10月に大韓航空、令和6年3月に香港航空が復便し、同年5月には中華航空が復便することとなった。 また、ベトナム航空のチャーター便も就航し、今後定期便になることが期待されている。 今年度は台湾へセールスに1度行っただけであったが、台湾のFAMツアーが実施されるなど、海外からの誘客事業が徐々に回復してきた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	3,000			
一般財源	0	0	73			

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	海外誘致セールスについては、市単独のみならず県全体で取り組むこととなると考えられる。費用がどの程度かかるか不透明ではあるが、現予算の状況を維持しつつ、効率的な誘客につながるセールスに取り組む。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

<b>1. 基本情報</b>					
事務事業名	2566 - 霧島市総合観光案内所管理運営事業				
政策名	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	所属	観光PR課		
施策名	3. 地域特性を生かした観光の推進				
基本事業名	1. 国内外の観光客の誘致	予 算 科 目	会計	01 一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①本市の豊富な観光素材や空港、高速道路等が整備された観光地としてのポテンシャルを最大限に生かしつつ、社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、観光関係団体等と一体となった誘客活動をさらに推進します。 ②旅行動機を喚起するSNS等を活用した情報発信などにより、「観光地・霧島」のさらなる知名度向上に取り組みます。		款	07 商工費	
			項	01 商工費	
			目	04 観光費	
		事業期間	令和5年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①②国内外の人	①②「観光地・霧島」の魅力を知ってもらう ①②「観光地・霧島」を訪れてもらう		関連計画	特になし

**2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>**

霧島の玄関口である鹿児島空港や高速道路利用者等の利便性の向上のため、その周辺にある観光施設「西郷公園」で観光案内を行う。  
 【委託先】公益社団法人霧島市観光協会  
 【主な委託業務】スタッフの雇用及び育成・観光案内・情報発信・問い合わせ対応・特産品等PR・レンタサイクル受付等

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 観光客	西郷公園来訪者(年度)	人	9,509	10,000	26,100	6,500
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 西郷公園で霧島市に関する情報を手にすることができる	案内した人数(年度)	人	0	3,000	3,460	2,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

<b>3. 事業費推移</b>		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	<b>4. 令和5年度の実績・成果</b>	
事業費(千円)		10,184	10,356	9,552	観光案内所が手狭であったことと、西郷公園が空港に近いことから総合的に判断し、令和5年4月より日当山西郷どん村から西郷公園に移転した。来園者数(団体受入数)や観光案内数は、移転の周知不足があったものの、1年を通じて一定の観光客が西郷公園観光案内所を訪れた。今後も周知を図ることが必要であるが、令和6年度に回廊撤去工事があることから、工事終了後に日当山西郷どん村で自主的に実施してきたハロウィンやクリスマス等に合わせたイベントなど、実施に向けて検討していく。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	10,100	10,300	9,500		
一般財源	84	56	52			

**5. 振返り<SEE (check)>**

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

**6. 評価結果<(Action-PLAN)>**

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	令和6年5月から、西郷公園の回廊撤去など大幅な改修工事が入るため、約半年を臨時休業とする。改修工事終了後には、これまで以上の来館者が得られるように周知をしていく必要がある。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	